

講義名	日本語資格試験講座 【N1対策】			授業形態	
担当教員	横田 彩子	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

本授業は、日本語能力試験（JLPT）N1合格を目標とする授業である。試験の問題形式に慣れ、語彙・文法の知識、読解力、聴解力を高める。語彙は、配布資料の内容を自宅で学習し、毎回の授業で確認テストをおこなう。文法は、意味や使い方が似ている項目をまとめて学び、その違いを理解する。読解は、配布した問題を自宅で解き、授業でより深く理解する。聴解は授業で実践問題に取り組む。これらの学習を通して、本書の試験に対応できる力を身につけることを目指す。

**到達目標**

N1の問題形式を理解し、試験で落ち着いて解答できるようになる  
N1レベルの語彙・文法が理解できるようになる  
N1の読解・聴解問題において、設問のポイントを意識しながら解答できるようになる

**提出課題**

- 配布資料の語彙を自宅で学習する
- 配布した読解問題を自宅で解く

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

- 配布資料の語彙の確認テスト（小テスト）毎回実施し、採点后に返却する
- 配布した読解問題について授業で解説する

**評価の基準**

- 授業への参加度（出席・態度）60%
- 小テスト 40%
- 5回以上欠席した場合は上記の評価に関わらず不合格とする

**履修にあたっての注意・助言他**

自宅学習の時間がつくれる学生を歓迎する

**教科書**

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

**参考図書**

.ミニストーリーで覚える JLPT日本語能力試験ベスト単語N1 合格2600.	話題別コーパス研究会	ジャパンタイムズ出版	1870	4789017958
.新完全マスタ.文法日本語能力試験N1.	友松 悦子、福島 佐知、中村 かおり	スリーエーネットワーク	1320	4883195643
.JLPT日本語能力試験 ベスト模試 N1.	筒井 由美子、大村 礼子、沼田 宏	ジャパンタイムズ	2090	4789017176

**その他**

毎回、資料のコピーを配布する

**授業計画**

- 第1回 オリエンテーション  
予習内容：シラバスをよく確認する（10分）  
復習内容：今までのJLPTの結果を確認して、試験当日までに準備することを明確にする（230分）
- 第2回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第3回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第4回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第5回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第6回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第7回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第8回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第9回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第10回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第11回  
予習内容：語彙を覚える・読解問題を解く（120分）  
復習内容：語彙を復習する・授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第12回（JLPT後）  
予習内容：読解問題を解く（120分）  
復習内容：授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第13回（JLPT後）  
予習内容：読解問題を解く（120分）  
復習内容：授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第14回（JLPT後）  
予習内容：読解問題を解く（120分）  
復習内容：授業で学んだ内容をもう一度確認する（120分）
- 第15回 振り返り

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目は、本学が育成を目指す「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるために身につけておくべき基礎能力のうち、「仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材」として、「必要な日本語能力を身につけ、活用することができる」力の養成を目指すものである。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

なし

**実務経験の有無及び活用**

なし

**備考**

なし